

一般社団法人日本新聞協会会長 山口寿一殿
一般社団法人日本民間放送連盟 大久保好男殿

ーともに走ろう、ともに生きようー

「新型コロナウイルス感染症の差別・偏見問題に関する共同声明」公表への御礼

研究者・臨床家として新型コロナウイルス感染症に関わる山中、押谷、長谷川、大曲の4名は、新型コロナウイルスのすべての感染者と、予防や対処がとりわけ難しい医療従事者や医療施設に対する偏見や差別が広がっている日本社会の現状を憂慮し、報道機関への協力と協働を求める「新型コロナウイルス感染症対策に関する、研究者・臨床家から報道機関への要望書」を、2020年4月24日、貴殿に提出しました。

二つの団体におかれてましては、問題の重大性と緊急性を真剣に受け止めて頂き、二団体合同のワーキング・グループを設置して頂きました。その後、ワーキング・グループと私共4名を含む専門家と二度の意見交換の機会を設けて頂き、2020年5月21日、二団体による「新型コロナウイルス感染症の差別・偏見問題に関する共同声明」を公表して頂きました。

深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の問題はこれからも続きます。感染者や感染施設に対する差別や偏見の問題もすぐにはなくならないと考えられます。報道機関の方々と、私たち専門家が、感染者や感染施設に寄り添い、みながともに手を携えて生きることのできる、やさしい社会を実現できるよう、引き続きのご協力とご協働を、あらためてお願い申し上げます。

2020年5月22日

山中伸弥（京都大学教授）

押谷仁（東北大学教授）

長谷川好規（名古屋医療センター院長）

大曲貴夫（国立国際医療研究センター国際感染症センター長）